

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	ふるさと寄附金推進課長 廣川 智久	
経企-05 企画総合計画事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 関連課	ふるさと寄附金推進課(経営企画課) 経営企画課
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営

1 事業の目的

対象	市民等
意図	地方自治法の本旨に即し、地域における総合的かつ計画的な行政運営を図るため。
効果	基本構想に掲げた将来都市像「古都としての風格を保ちながら、生きる喜びと新しい魅力を創造するまち」の実現

2 平成27年度に実施した事業の概要

・ふるさと寄附の推進のため、鎌倉市ふるさと寄附金制度を構築した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)		38,173		当初予算(千円)	87,675		平成28年度からは「ふるさと寄附金推進事業」を創設し、実施する。
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	0	38,173	38,173	一般財源	87,675		
事業運営	人員配置数	0.0	1.0	1.0	人員配置数	3.0		
	人件費(千円)	0	7,933	7,933	人件費(千円)	25,092		
	総事業費(千円)	0	46,106	46,106	総事業費(千円)	112,767		
経費	市民1人当りの経費(円)		260	260	市民1人当りの経費(円)	638		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 鎌倉市地域特産品を提供する連携事業者
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 ふるさと寄附金制度を拡充し、さらなる歳入確保に努める。 事業へ統合
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 事業の充実を図ることにより寄附金額が増加することが見込まれ、それに伴い歳入及び歳出(運用代行委託料など)が増加していくこととなる。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	事業費について、当初の予測を超える寄附申出を受けたため平成27年度は補正・流用を行い、また、平成28年度以降も事業の充実を図っていくため、削減余地は「ない」とした。 より幅広く事業展開していくためにふるさと寄附金推進課が新設されたものであり、関連・類似事業との統合はできない。 事業の妥当性については、市民も本市へ寄附出来ることもあり、全国的なふるさと納税制度に対する理解の広がりとともに、市民ニーズも増えつつあると考えている。市民生活に直接影響を与える事業とは言えないものの、当該事業を実施しない場合、本市から他自治体へ流出する金額が増加する一方になるため、その意味で間接的な影響があるものと考え、妥当であり有効であると判断した。 協働については、市内事業者と連携した地域特産品(返礼品)を提供することにより、歳入確保だけでなく、本市の魅力をPRし、鎌倉ファンを増やしていくことになるため、今後も拡大・継続していきたい。	

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	ふるさと寄附金制度を拡充し、歳入確保に努めること。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	ふるさと寄附金制度を構築し、平成27年7月から返礼品制度を導入することで、大幅な歳入確保を図った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	事業を開始することは出来たが、引き続き厳しい財政状況であるため、今後、制度のさらなる改善・充実を行うことが必要と認識している。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	平成27年4月～12月における寄附申出金額									
団体名	鎌倉市	秦野市	箱根町	南足柄市	横須賀市	茅ヶ崎市	寒川町	横浜市	湯河原町	
他市実績	119,330,164	129,951,061	520,680,752	27,228,954	29,163,500	74,733,780	12,877,500	42,609,555	50,831,386	
	100%	109%	436%	23%	24%	63%	11%	36%	43%	

比較事項	地域特産品(返礼品)件数									
団体名	鎌倉市	秦野市	箱根町	南足柄市	横須賀市	茅ヶ崎市	寒川町	横浜市	湯河原町	
他市実績	98	77	113	8	22	57	25	0	4	
	100%	79%	115%	8%	22%	58%	26%	0%	4%	

比較事項										
団体名	鎌倉市	秦野市	箱根町	南足柄市	横須賀市	茅ヶ崎市	寒川町	横浜市	湯河原町	
他市実績										

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	実施初年度としては一定の成果を上げることが出来たが、今後、本市と同様の取組に新規参入する自治体や、魅力的な商品を提案する自治体も増えるものと思われる。県内他自治体との比較を行い、本市としてもさらに向上を目指す。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	寄附申出金額	単位	千円	指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
より一層の歳入確保を図る上で、明確な指標となるため。	目標値		3,000	194,000	250,000	300,000	350,000
	実績値		123,330				
	達成率		4111.0%				

指標の内容	地域特産品(返礼品)件数	単位	件	指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
市内事業者との協力の成果が表れるため。	目標値		73	105	110	115	120
	実績値		98				
	達成率		134.2%				

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	本事業の充実を図ることが、寄附申出金額の増加に結びつくものと考えている。 また、本市の魅力年全国に発信すべく連携事業者との協働を進めていくことにより、地域特産品(返礼品)の種類・件数が豊富になるものと考えている。
-----------------------	---

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---